

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 慢性肝疾患と免疫・炎症マーカーの関連についての検討
	研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院肝臓内科において、2010年4月から2022年3月までに肝硬変症または肝細胞癌と診断された患者様
	研究の目的 慢性肝疾患は進行により、肝硬変症ならびに肝細胞癌に至り、致命的な経過をたどることがあります。薬剤の進歩により、内科的な治療が積極的に行われるようになりましたが、選択肢が多岐に渡り、治療前に効果や副作用の予測が可能であれば個々の患者様により適切な治療を提供可能となります。 白血球やCRPなど血液検査で測定可能な免疫・炎症マーカーは肝疾患においても有用性が報告され始めていますが、まだ不明な点が多いのが現状です。 当院における肝硬変症、肝細胞癌における内科的治療の成績と免疫・炎症マーカーとの関連について検討し、今後の内科的治療の適切な選択に応用したいと考えております。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2023年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、家族歴、生活歴、肝疾患の原因 ・身体所見：身長、体重、血圧、脈拍、体温、意識レベル ・臨床検査：血液学的検査(白血球数、好中球数、リンパ球

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>数、単球数、ヘモグロビン値、血小板数、プロトロンビン時間)、生化学検査(T.Bil、ID.Bil、LDH、AST、ALT、ALP、GTP、T.chol、ChE、TP、Alb、BUN、Cre、CRP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像検査：腹部造影 CT 検査、腹部造影 MRI 検査(肝細胞癌の局在、腫瘍径、転移の有無) ・治療内容(BCAA、合成二糖類、亜鉛製剤、カルニチン製剤、難吸収性抗菌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬) ・転帰(生存、死亡、副作用発現、治療による完全奏効、部分奏効、安定、進行。)
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第二講座 川田一仁</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第二講座 川田一仁</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学 部署名： 内科学第二講座 担当者： 川田 一仁 TEL： 053-435-2263 E-mail： kawata@hama-med.ac.jp</p>